

◎市内の認知症疾患医療センター

- 恵愛病院認知症疾患医療センター (☎87) 0 1 0 0)
- 三愛病院認知症疾患医療センター (☎83) 3 2 0 7)

◎登別市地域包括支援センター

- 「けいあい」 (鷺別町2丁目32-1 ☎82) 5 0 0 5)
- ゆのか (片倉町6丁目9-1 ☎88) 2 1 0 6)
- あおい (愛桜) (登別東町3丁目1-2 ☎83) 0 5 1 1)

おかしいと最初に気付くのは、多くが本人ですが、それが認知症によるものと考え難いものがあります。しかし、本人や家族、周囲の人が何かおかしいと異変に気付いたときに、すぐに専門の医療機関に受診することが最も大切な認知症への対応になります。

すぐに相談・受診を

早く気付けば気付くほど、さまざまな処置を講じることが可能となり、アルツハイマー病による認知症の場合であれば、服薬によって進行を遅らせることができ、普段の生活をより長く保つことができます。また、軽度認知障害と診断された場合には、適切な対応により、認知症の発症を防ぐことができる可能性があります。

認知症の診断は、初期ほど難しく、専門の医療機関への受診が不可欠です。

市内には、より専門的な鑑別診断や治療を行うことができる機関として北海道から指定を受けた『認知症疾患医療センター』が2カ所あり、認知症治療に関して、とても恵まれた環境にあります。

また、高齢の方の総合的な相談窓口である『地域包括支援センター』には、認知症地域支援専門員が配置されており、認知症に関する相談支援を随時行っています。「もの忘れが多くなった」、「配偶者の様子が



ご存知ですか  
認知症初期集中支援チーム

認知症サポート医の資格を有する医師と専門職(社会福祉士と看護師)で構成される『認知症初期集中支援チーム』は、認知症が疑われる人や認知症の人に加え、その家族への初期の支援を集中的に行う専門チームです。

家庭を訪問し、認知症専門医や必要な介護サービスなどの紹介、症状に合わせた関わりのアドバイスなどを行っているほか、『登別おれんじふぉーらむ』を開催するなど、認知症への理解を深めています。

支援を受けたい方、認知症への対応に悩んでいる方など、まずはお住まいの地域の地域包括支援センターにご相談ください。



▲2月9日(土)に開催を予定している『登別おれんじふぉーらむ』(詳しくは29ページをご覧ください)

認知症の人との接し方を学ぶ

おかしい」など、生活の中で不安を感じたら、すぐに相談してください。

人は誰にも、豊かな感情と自尊心があり、認知症になったからといって何も感じなくなるわけではありません。

今までできていたことができなくなることは、大きな不安や焦りとなり、また、失敗を笑われたり、から

かわれたりすることは自尊心を傷つけられることとなります。認知症を発症した本人が、誰よりも不安で心細く、苦しく、悲しんでいます。

市は、認知症の人や家族への接し方などについて学ぶ『認知症サポート養成講座』を開催しています。

町内会、事業所などへ講師が出席して講座を開催しますので、希望する方は高齢・介護グループまたは地域包括支援センターにご連絡ください。